

新刊「海外水ビジネス戦略」好評販売中です

最近の状況

NEWS LETTER第24号をお届けします。パラリンピックの選手たちの活躍は、大きな感動をもたらし、これを機に障害者の人たちへの理解が大きく進むことと思います。例えば、国際パラリンピック委員会のデータによると、世界の障害者の人口は世界の総人口の約15%にのぼるのだそうですが、こうしたことも、最近まで私は知らなかったことでした。コロナ禍の中、オリンピック・パラリンピックの開催に対しては、様々な議論がありましたが、結果として「開催して良かった」という思いが残る形で締めくくって欲しいと願っています。



8月準定例会を開催しました

2021年8月19日（木）19時半から21時半まで8月準定例会をzoom形式で開催しました。英国で6月11日から13日に開催されたG7サミットについて、まず資料に基づいて工藤さん、今井さんより説明があった後、海外水ビジネス研究会に新たに参加され、英国・EUの政治経済に詳しい、丸紅ロンドンの松原弘行さんより、開催国ロンドンでの見方について紹介がありました。日本では中国・東アジア情勢を強く意識した会合だったと報じられていましたが、実際にはそうした話題は中心ではなく、COVID-19禍からのBuild Back Betterに向けた具体的な方策を示したことが特徴だった等という紹介でした。海外での動きについては、一つの情報を鵜呑みにしてはいけないことにあらためて気付かされました。

水道公論9月号の内容

「海外水ビジネスの要点」シリーズでは、「海外水ビジネス戦略の本の全体像について」（山村ソノボウ）、コラム「海外水ビジネスの眼」では「国際開発金融機関のVETO（拒否権）」を掲載します。

定例会・準定例会の計画について

- ZOOM幹事会が9月10日（金）20時から。前回に引き続き「次のステージの検討」についてのフリートーキングを予定しています。幹事以外の方のご参加も歓迎します。
- 今回は、zoomによる準定例会とし、9月16日（木）19時半から21時に開催。次期ステージで焦点の一つになる予定の気候変動問題に関する報告を今井茂樹さんからしていただきます。当日は、対策技術を中心に、前提になる気候変動問題関連の今後の検討事項についても話題になります。今回は、IPCCで活躍された三村信男先生（茨城大学前学長）他にも参加していただきます。資料は下記ドロップボックスをご覧ください。

https://www.dropbox.com/sh/81t8j0k9u8pdvet/AADrs2OEHlcrSKh_p-FihNwPa?dl=0

水道公論コラム原稿を募集しています

字数は1500から1600字、「である調」、ペンネーム（実名は出さず）で原稿を募集しています。連絡は山村まで。